



TITLE:

表紙・目次・編集後記

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次・編集後記. 公共空間 2008, 1

ISSUE DATE:

2008

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/143627>

RIGHT:

本誌掲載の写真・イラスト・記事の無断転載・二次利用はお断りいたします

公共空間

2008 Autumn

特集 環境問題を考える

— 座談会

気候変動は私たちに何を迫るのか

気候ネットワーク代表

浅岡 美恵

環境省職員

一方井 誠治

京都大学大学院教授

植田 和弘

— 環境問題と日本外交

前外務省関西大使

天江喜七郎

— エネルギー・環境問題と文理融合

京都大学大学院教授

手塚哲央

— 気候変動問題と革新的技術

京都大学公共政策大学院修士課程

濱野裕治

～Essay～

優しさいっぱい社会の得失

京都大学大学院特別教授

佐伯英隆

新人

京都大学公共政策大学院修士課程

千葉修平



京都大学公共政策大学院

Kyoto university school of government

★編集後記★

・ 佐伯先生のエッセーではないが、近年国際結婚が増えている。日本男児は急速なグローバル化の中で減少の一途を辿っている、のかもしれない。だから絶滅危惧種にでも指定して手厚く保護してはくれないだろうか？

と、この発言を聞いた副編集長Kは、「トキとかと同じ扱いやんな？じゃあ檻に入れてバケツで餌をやりつつ、人工的に繁殖させてあげるわ」とのたまった。地球が暖かくなっても彼女は冷たいままみたいだ。(田)

・ 初めての雑誌作り。予定通りに進んだ作業は皆無と言ってよく、多くの方々にご迷惑をおかけしたし、また助力もいただいた。この場を借りてお礼申し上げたい。そんな編集過程を反映してか、“いっぱいいっぱい”な雑誌になった感がある。成分表示で言えば、焦りが75%、残り25%は編集長が執拗にかけ続けたクラシック音楽に由来する眠気成分で出来ている。次はもっと茶目っ気のある、ユーモア配合の雑誌を目指したい。(樫)

・ んー、また編集会議室から出てきてしまった。僕自身やることなくて暇やしなあ。あつ、〇〇さん。自主ゼミ合宿、来れる？××くん、野球の試合あるけど、予定つく？バスケ、体育館空いとるか、電話せな。おつ、Kか、裏官庁訪問の練習？、付き合ってやる。という具合に、営業マンとして、長時間の放浪を終えた後、TちゃんとKさんの待つ編集会議室に戻る後ろめたさ。僕の度重なる放浪を許してくれた二人にまじで感謝。(佐)

*ルビョウ編集長

『公共空間』 二〇〇八年 秋号

発行人 公共空間編集委員会

編集長 田上 翔

副編集長 樫村 さや香

編集委員 佐野 太南

編集顧問 大石 眞

千葉 修平

編集協力 小屋敷 浩

西村 晃代

濱野 裕治

藤本 粹夫

住所

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学 公共政策大学院内

電話 075-753-3126

メール koukyoukukan@yahoo.co.jp

本誌掲載の写真・イラスト・記事の
無断転載・二次利用はお断りいたします

